

令和2年4月20日

所沢市医師会 会員の皆様へ

感染症担当理事  
赤津

## 新型コロナウイルス感染症対応について（第14報）

所沢市における新型コロナウイルス感染症患者が激増中です。県内で一番のホットスポットとなりました。全ての医療機関に、できる限りの感染対策の厳守と御協力を引き続きお願い申し上げます。One for all, all for one、支え合いが崩れそうな状況ですが共に助け合えるように努めて参りましょう。

### 記

#### 1. 埼玉県における新型コロナウイルス感染症の発生状況について

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)

4月18日午後7時現在の資料では633名です。4月11日18時30分の資料では356名です。(4/4 156名、3/28 82名)激増中です。入間市、狭山、川越市で増加中。症例の概要が把握困難となっていますが、無症状あるいは軽症者の感染者に留意が必要。

#### 2. 所沢市での発生状況について

3月23日夜に第1例目が報告されました。その後、市内医療機関では明生病院、所沢ロイヤル病院、埼玉西協同病院で複数例が発生しました。福祉施設での集団感染も報告されました。4月11日18時30分時点の患者数は44名でしたが、4月19日発表のところざわほっとメールの資料では106名まで激増中です。このままでは、所沢市単体で東京都と同じ状況になります。

#### 3. 所沢市医師会として確保を続けている衛生資材等について

京谷会長の指示の下、新型コロナウイルス感染症対策の衛生資材を医師会に備蓄を始めています。調達が困難な中での備蓄ですが、必要性が高いと理事全員が賛同して実施中です。

医師会として、市民のために活動する休日当番医や今後想定される業務（例えば、発熱外来の実施並びに支援、医師会でのPCR検査の実施）並びに衛生資材に困窮している新型コロナウイルス感染症（疑いも含む）受け入れ医療機関等への支援が念頭です。すでに4月16日の文書で「休日当番医用个人防护具の供与について」（京谷会長、斎藤理事発）を御連絡致しました。休日当番にあたっている先生は、医師会事務局へ御一報頂き、个人防护具の供与をお受け下さい。感染者（疑いも含む）を受け入れなさっている医療機関で備品調達が難渋している場合も御一報下さい。

#### 4. 所沢市市民医療センターにおける発熱外来の開設及び入院・内科外来の診療制限について

市民医療センター長から通知がありました。4月21日（火）より、平日8時30分から11時30分の時間帯で、完全予約制として発熱外来を実施して頂けることになりました。かかりつけ医の先生方がまず診察を行い、診断に苦慮される場合が念頭です。これまでのスキームの通り、かかりつけ医の段階でコロナ疑い例の場合は帰国者・接触者センターへ連絡して対応して下さい。選別なしで発熱外来に紹介するとすぐにパンクしてしまいます（あるいは受診できるのがずっと先になる）。発熱外来への受診は事前手続き・予約が必要ですので御留意下さい。発熱外来の維持には所沢市医師会会員の皆様の全面的な協力と支援が必須です。適切な運営のため、御協力をお願い申し上げます。

現時点では新型コロナウイルスPCR検査を念頭としたものではなく、また、新型コロナウイルス感染症患者の入院治療を行うものでもありません。

#### 5. その他

4月18日の午前の小職の外来の折に、初診の患者様が2名おいでになりました。1名は高血圧他の患者様でした。伺うと、今までのかかりつけ医のクリニックが突然閉院となったとのこと。勿論、診療情報もなし、御夫婦で御開業の先生とのこと（勿論所沢市ではありません）。かかりつけ医の年代を伺いましたら40-50歳前後とおっしゃっていました。

もう一人は施設入所中の発熱患者で大宮市からおいでになりました。入居なさっていた施設で少し前に、無症状で退所後に新型コロナウイルス感染症が判明した方がいたとのこと。すでにPCR検査を受けていましたが、念のための受診でした。个人防护具を着用して診察、肝機能障害、炎症反応高値、右中葉胸膜下優位の間質影を認めました。

医療崩壊がもう始まっていることを実感しました。